

ガモン!

AKINDO



加茂でがんばる素敵な商売人 (AKINDO) をご紹介します!



今回の AKINDO

波塚メリヤス(有)

社長 波塚 幸人さん(左)

坂上ニットプレス

坂上 満さん(右)

ゲスト…関谷 正志さん(中央)

加茂のニット業界を盛り上げている若手のお二人、「波塚メリヤス(有)」社長の波塚幸人さんと「坂上ニットプレス」の坂上満さんにお話を伺いました。

「お二人ともニット関連のお仕事ですが、どんなことをされているのですか?」

波塚さん・私の会社は婦人服メーカーで、糸や編地の提案から最終仕上げまでを行っています。

坂上さん・私達の仕事は、製品の糸処理、検査や汚れ落とし。そして、アイロンプレスに包装、検針、出荷までを貫けて行っています。同じニット業ですが、作業内容が全く違うので、一緒に仕事をすることが結構あるんですよ。

「新潟市のセレクトショップで、2社共同のオリジナルニットが販売されるそうですね。」

波塚さん・そうなんです。満(坂上さん)から新潟市のセレクトショップ「Quirius(キュリアス)」(新潟市西区坂井)の関谷くんを紹介されて、今回の話がスタートしたんです。彼が作りたいニットを「波塚メリヤス(有)」で製造して、「坂上ニットプレス」で糸処理から出荷まで行うオリジナル商品を作ろうって!

「今回は、関谷さんにもお越しいただきました。が、きっかけを教えてください。」

坂上さん・関谷くんとの出会いは今から3年前でした。初めて会った時、色々話したんですが、結構お酒を飲んでいたのであまり記憶が…。

関谷さん・陽気な坂上さんから「一緒にニット作ろうよ」と声をかけられたんですよ。その時は自分達でニットを作るなんていう発想が無かったので、そこで終わって加茂をPRしてね。波塚さん・次はニットタイを作るのも良いかもね。「陽気な」満くんのおかげで今があるわけね。

坂上さん・覚えていないけど…。加茂は「昔前、織物産業が盛んでした。時代が変わっても、その産業のDNAは引き継いでいます!今回みたいにオリジナル商品などを通して加茂の技術を実証したいです。そして、加茂の産業を盛り上げたい!

関谷さん・二つの商品を長く売り続けるのは難しいという話をよく聞きますが、自分の理想を波塚さんと坂上さんから形にしてみました。ニットを長く売っていきたいです。

波塚さん・定番商品になったらいいよね。

「楽しみにしています! みなさん、ありがとうございます。」

類があるんです。今回は、毛玉がでにくくて毛羽立ちの少ない糸を提案しました。ショップの常連さんに人気の折り返しできる、デザインの良いように肩の縫いしろを隠したり、工夫してみました。

「実際に形になって、いかがでしたか?」

関谷さん・想像以上の仕上がりでした。波塚さんの技術にも感動しましたし、初めて自分の要望が形になった喜びもすごく大きかったです。

波塚さん・関谷くんは服を売るプロで、作るプロではないので、理想の完成図を断片的に伝えてくるんです。彼の「ああしたい」「こうしたい」という望みを形にするのが私の仕事なので、要望を汲み取って、彼がイメージするものを作るまで、何度も何度も話し合いました。



オリジナルニットの試作品

波塚さん・お客様の声を直接聞いているショップの方と仕事したのは初めてでしたが、おもしろかったです。関谷くんのコンセプト「長く着れるニット」を叶えるべく、糸からこだわりました。種100%と言ってもかなり細

「販売される日が待ち遠しいですね。」

坂上さん・ですね。ぜひ、いろんな方から着ていただきたいですね。POPとか